

-----5月30日-----

## 今週のアウトルック (5/30 ~ 6/3)

先週は、前半は円安、後半は円高と、はっきりとトレンド転換されたような週となりました。キッカケは米国マクロ指標の悪化ということになるのですが、「これ以上のリスクテイク的な動きは難しい」というセンチメントが支配的となり、早めの利益確定に押されたという見方の方が現実に近いのかもしれませんが。

さて、今週ですが、ストップロスを狙った、もう一段の円高ドル安の動きになるのか、それともここから戻してしまうのか、まずは週始めの動きに注目したいところです。

ドル売り要因は

- 1.米国マクロ指標の予想以上の悪化
- 2.ユーロドルの買い戻し
- 3.ドル買い、もう一段上昇のレジスタンスが意外に強かったこと  
などが上げられると思います。

今週はこの要因からも、早々に、一度80円割れにトライする動きが出てくる可能性が高いように思います。

一度割ってしまうと、どこまで進むのか予想が難しいですが、政府要人から強い牽制発言が出てこなければ、一気に進んでしまうこともあり得るため、注意が必要です。

後半は米国雇用統計を見据えた動きになるため、ボラタイルな動きとなりそうですが、予想外に悪化していた場合、大きく動いてしまう可能性もあるため注意が必要です。

ドル円の予想レンジは79円から82円です。

ユーロは、当面ユーロドルのレンジ上限と考えられていた、1.43を少し超えた状態で、週末を迎えています。ドル安センチメントが高まってきているため、このラインを超えて、もう少しユーロ高が進む可能性が出てきたように思います。よって、ユーロ円も117円あたりまで、一度円安が進む可能性も考えられます。

ユーロ円の予想レンジは115円から117円です。

ポンド円はドル安の影響を受けやすいため、ユーロ高が進んでも、ポンド高になりにくい状況はあるように思います。レジス的な動きの可能性が高いように思います。

ポンド円の予想レンジは131円から134円です。

今週は、ドル安的なセンチメントが、米国雇用統計でもう一段進んでしまうのか、それとも解消される方向に進むのか、大きな分かれ目となりそうです。

**\* 免責事項 \***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。